

① 「動物を愛護する心」とは？

人とペットのかかわり方は、今では「家族の一員」と言われるほど、深く親密しんみつになっています。このかかわりを大切に、命ある動物を愛護する心を育て、思いやりをもって動物に接することは、私たちが動物と共に生きていくために重要なことです。



令和 7 年度入賞作品より



令和 7 年度入賞作品より



令和 7 年度入賞作品より

② 「終生飼養」とは？

ペットは私たちと同じ「命」をもつ存在です。飼う前には飼いたい動物のことを勉強し、本当に飼育できる環境か、十分な時間と手間がかけられるか考えましょう。一度飼い始めたなら、ペットの健康状態には気を配り、世話をやめることなく飼いましょう。途中で飼えないからといって動物を捨てることは絶対にやめましょう。



令和 7 年度入賞作品より



令和 7 年度入賞作品より

「飼育管理マナーの向上」とは？



フンの放置、放し飼いによる迷惑、散歩中にリード（綱）を放すなど、ペットが嫌われる理由のほとんどは飼い主のマナーが悪いことが原因です。まわりの人への気配りをもって飼うことで、迷惑行為を減らし、ペットの飛び出し事故やかみつき事故を防ぎましょう。

③「ペットの災害対策」とは？

災害時には、何よりも人命が優先されますが、家族の一員であるペットも共に災害を乗り越えられるよう日頃から心構えと備えが必要です。日頃から災害に備えてしつけや健康管理を行い、ペット用の防災用品や備蓄品を用意しましょう。



令和7年度入賞作品より

日頃からの災害への備え

- ◆ **住まいの災害対策**：まず、飼い主が無事であるために、家の耐震化や家具の転倒防止などの対策を取っておきましょう。
- ◆ **家族での話し合い**：災害が起こったときに、どの道を通ってどこに避難するかなど日頃から話し合っておきましょう。
- ◆ **ペットのしつけ**：日頃から、むやみにほえないなど基本的なしつけをしておきましょう。
- ◆ **ペットの健康管理**：各種伝染病ワクチンや狂犬病ワクチンを接種し、ノミ、ダニ、フィラリアなどの寄生虫の予防・駆除を行っておきましょう。
- ◆ **迷子札やマイクロチップをつける**：
突然の災害はもちろん、普段の生活でも思いがけないアクシデントで飼い主と離れ離れになることがあるかもしれません。
ペットが迷子になり、どこかで保護されたときに、すぐに飼い主がわかるよう、首輪に迷子札をつけておきましょう。
首輪が外れてもわかるよう「マイクロチップ」を入れておくといった二重の対策をとりましょう。



令和7年度入賞作品より

ペットのための防災用品

避難所では、ペットに必要な生活用品は、基本的に飼い主の責任でそろえることになります。災害時にすぐ持ち出せるように準備をしておきましょう。

優先順位1 動物の健康や命にかかわるもの

療法食や薬（治療中の場合）、ペットフードや水（少なくとも5日分）、キャリーバッグやケージ、予備の首輪、鎖やリード、ペットシート、猫用トイレ、食器（フードと水用）など

優先順位2 情報（印刷物以外にスマートフォンにも）

飼い主の連絡先等、ペットの写真、ワクチン接種状況、既往歴や投薬中の薬の情報など

優先順位3 ペット用品

タオルやブラシなどのお手入れ道具、おもちゃ、洗濯ネット、ビニール袋など



令和7年度入賞作品より